

AKAI[®]
PROFESSIONAL

MPC
STUDIO

クイックスタートガイド

安全にお使いいただくために

この取扱説明書で使用している危険防止のマーク



このマークは、操作とメンテナンスにおける重要な指示があることを示しています。



このマークは、適切な電圧で機器をしようしないと、感電の恐れがあるという警告です。



このマークは、ご利用出力コネクタが感電を起こす恐れのある電圧を含んでいるという警告です。

製品をご使用の際は、以下の使用上の注意に従ってください。

1. 注意事項を必ずお読みください。
2. 注意事項を必ずお守りください。
3. すべての警告に従ってください。
4. すべての注意事項に従ってください。
5. 水の近くで使用しないでください。
6. お手入れの際は、乾いた布を使用してください。液体洗剤は、フロントパネルのコントロール装置を損なったり、危険な状態を招いたりする恐れがあるので、使用しないでください。
7. 取扱説明書に従って設置してください。
8. 暖房器具や調理器具、アンプを含むその他の音楽機器など、熱を生じる機器の近くには置かないで下さい。
9. 電源プラグは、危険防止のために、正しく使用してください。アース端子付の電源プラグは、2つのブレードのほかに棒状のアース端子が付いています。これは、安全のためのものです。ご利用のコンセント差込口の形状に合わないときは、専門の業者にコンセントの取り替えを依頼してください。
10. 電源コードを誤って踏んだり、挟んだりしないように注意してください。特にプラグ部、コンセント差込口、本装置の出力部分に注意してください。
11. 付属品は、メーカーが指定しているものを使用してください。
12. 音響機器専用の台車、スタンド、ブラケット、テーブルに乗せて使用してください。設置の際、ケーブルの接続や装置の設置方法が、損傷や故障の原因にならないよう注意してください。
13. 雷が鳴っているときや、長時間使用しないときは、プラグを抜いてください。
14. 修理やアフターサービスについては、専用窓口にお問い合わせください。電源コードやプラグが損傷したとき、装置の上に液体をこぼしたり、物を落としたりしたとき、装置が雨や湿気にさらされたとき、正常に動作しないとき等、故障の際は、修理が必要となります。
15. 本装置は、正常に動作していても熱を発生しますので、周辺機器とは最低 15 センチ離し、風通しの良い場所でご利用ください。
16. 主電源プラグまたはアダプターをコンセントからいつでも抜ける状態にしておいてください。
17. 本装置をアンプに接続して、ヘッドホンやスピーカーで長時間、大音量で使用すると、難聴になる恐れがあります。(聴力低下や、耳鳴りを感じたら、専門の医師にご相談ください)。
18. 水がかかるような場所に置かないでください。花瓶、缶飲料、コーヒーカップなど、液体が入ったものを本装置の上に置かないでください。
19. 警告：火災や感電防止のため、雨や湿気にさらさないでください。



このマークのついた製品は、必ず電源プラグをコンセントに差し込む前に、アダプタのアース線を接地してご使用ください。

inMusic Japan 株式会社 カスタマーサポート部

東京都港区南麻布 3-19-23 オーク南麻布ビルディング 6 階

[Web] inmusicbrands.jp

[サポート] www.inmusicbrands.jp/support/

クイックスタートガイド

はじめに

主な特徴

- RGB バックライト付きペロシティ対応パッド x16
- カラーLCD
- タッチストリップ・コントローラー
- 3.5 mm TRS MIDI 入出力端子
- USB バスパワー
- MPC ソフトウェア付属（ダウンロード提供）

同梱品

MPC Studio II 本体

USB ケーブル

3.5 mm TRS > 5 ピン MIDI アダプター

ソフトウェアダウンロードカード

クックスタートガイド/保証書（本書）

重要： akaipro.com の MPC Studio II 製品ページにアクセスし、フルバージョンのユーザーガイドをダウンロードしてください。

サポート

本製品に関する最新情報（システム要件、互換性情報など）および製品登録は akaipro.com をご参照ください。

その他の製品サポートについては、akai-pro.jp/support をご覧ください。

MPC ソフトウェアのインストール

1. akaipro.com にアクセスし、アカウントにログインします。（初めての Akai 製品の場合は、アカウントを作成します）。
2. アカウントにログインしたら、MPC ソフトウェア・パッケージをダウンロードします。
3. ファイルを開き、インストーラーをダブルクリックします。
4. 画面の指示に従い、MPC ソフトウェアをインストールします。

注意：MPC ソフトウェアは、ハードドライブの **Program Files\Akai Pro\MPC** (Windows® の場合)もしくは **Applications** (mac®の場合) にインストールされます。また、デスクトップにショートカットを作成することもできます。

セットアップ

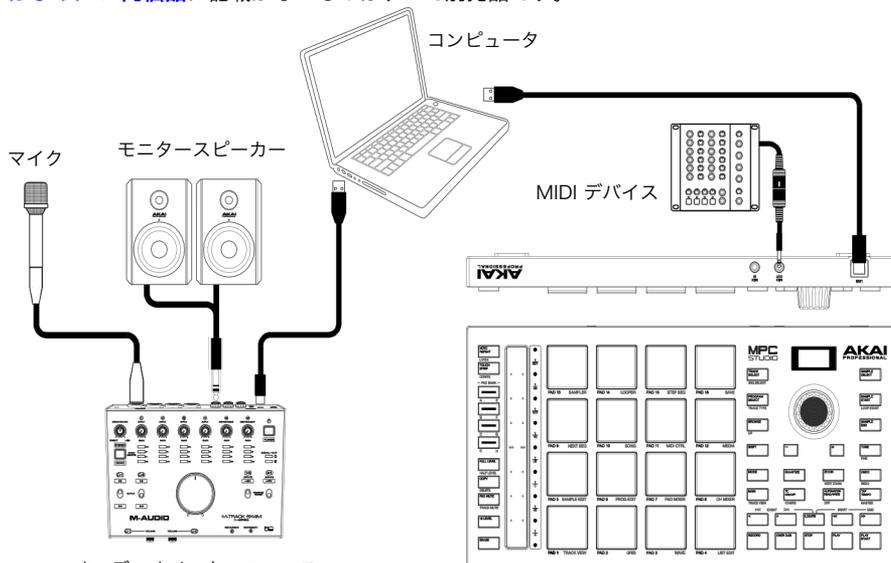
1. まず、付属の USB ケーブルで本機とコンピュータを接続します。
2. ご使用のコンピュータで MPC ソフトウェアを開きます。
3. MPC ソフトウェアのプリファレンスメニュー (**Preferences**) でオーディオの設定を行います。
Windows の場合：メニューアイコン (≡)、**Edit、Preferences** の順にクリックする
mac の場合：MPC メニュー、**Preferences** の順にクリックする
4. プリファレンスメニューのウィンドウで **Audio** タブをクリックし、使用するサウンドカードを選択して **OK** をクリックします。

Windows ユーザーへの注意：可能であれば外部オーディオインターフェイスをご使用ください。コンピュータの内蔵サウンドカードを使用する場合は、asio4all.com から ASIO4ALL ドライバーをダウンロードしてご使用になることを推奨します。

- ※ ユーザーガイドのフルバージョン（英語版のみ）は、MPC ソフトウェアのメニューアイコン (≡)、**Help、MPC Help** の順に選択すると開くこともできます。

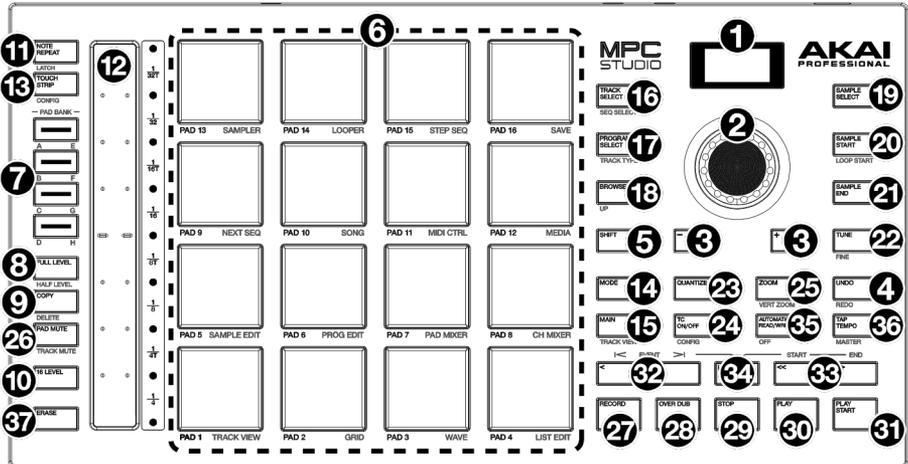
接続例

はじめに > **同梱品** に記載がないものはすべて別売品です。



機能

トップパネル



ナビゲーション/データ入力コントロール

- ディスプレイ：**このカラーLCD に本機の動作状況に関するあらゆる情報が表示されます。情報の多くは、MPC ソフトウェア上にも表示されます。Mode ボタンとパッドを使用すれば、ディスプレイの表示モードを変更できます。**データダイヤル**もしくは (-/+) ボタンを使用すれば、ディスプレイに表示された設定やパラメータを調整することができます。
- データダイヤル：**このダイヤルを回し、ディスプレイに表示されたメニューのオプションの選択やパラメータ値の調節を行います。このダイヤルを押すと、**ENTER キー**として機能します。
- (-/+)** ボタン：ディスプレイ上で選択した値の増減を行います。
- Undo/Redo ボタン：**このボタンで最後に行った操作の Undo を行います。
SHIFT を押しながらこのボタンを押すと、Undo した操作の Redo を行うことができます。
- SHIFT ボタン：**このボタンを押しながらの別のボタンを押すと、各機能のサブ機能（白で本体に印字された機能）にアクセスすることができます。

パッドコントロール/タッチストリップコントロール

- パッド：**これらのパッドで、ソフトウェアにロードしたドラム音その他のサンプルをトリガーします。パッドはベロシティとプレッシャーを認識するので、表現力豊かで感覚的な演奏が可能です。パッドのバックライトはパッドを叩いた強さによって異なる色で点灯します（一番弱い叩き方で黄色、一番強い叩き方で赤色）。バックライトのカラーは、ユーザー設定が可能です。
Mode ボタンを押しながら任意のパッドを押すと、ディスプレイの表示モード（オレンジ色で本体に印字されています）を変更できます。
- PAD BANK ボタン：**これら 4 つのボタンで、A~D の 4 つのパッド・バンクを選択します。**SHIFT** を押しながらこのボタンのいずれかを押しもしくはダブルタップすると、パッド・バンク E~H を選択することができます。

8. **Full Level/Half Level ボタン**：このボタンを押すと、フルレベル機能がONになります。ONの状態では、パッドを叩く強さに関係なく、ベロシティが常に最大値の **127** でサンプルが再生されます。
SHIFT を押しながらこのボタンを押すと、ハーフレベル機能がオンになり、パッドを叩くと常にベロシティ値 **64** でサンプルが再生されます。
9. **COPY/DELETE ボタン**：このボタンを使用し、パッドのサンプルを別のパッドにコピーします。**Copy from pad** フィールドでソースパッド（コピー元のパッド）を選択し、**Copy to pad** フィールドでコピー先パッドを選択します。コピー先パッドは、複数のパッドおよび別バンクのパッドを選択することも可能です。**Do It** 押してパッドのコピーを完了するか、**Cancel** を押してコピーをキャンセルし、前の画面に戻ります。
SHIFT を押しながらこのボタンを押し **Delete Pad** ウィンドウを開くと、選択したパッドにアサインされたサンプルなどを削除することができます。
10. **16 LEVEL ボタン**：このボタンを押すと、16 レベル機能がONになります。ON の状態では、最後に叩いたパッドの設定が、一時的に 16 個すべてのパッドにコピーされます。すべてのパッドは、最後に叩いたパッドと同じノート・ナンバーしか出力できなくなりますが、叩く強さに関係なく、パッド毎に設定されたベロシティで鳴るようになります。**16 LEVEL ボタン**のパラメータは**データダイヤル**もしくは**(-/+)** ボタンで調節することができます。
11. **NOTE REPEAT/LATCH ボタン**：このボタンを押しながらパッドを押すと、現在のテンポおよびタイム・コレクトの設定に基づくタイミングで、サンプルが繰り返してトリガーされます。
SHIFT を押しながらこのボタンを押すと、ノート・リピート機能が固定されます。固定されると、ボタンを押し続ける必要がなくなります。
NOTE REPEAT ボタンをもういちど押すと、ノート・リピート機能の固定が解除されます。ノート・リピート機能のタイム・コレクトは、タッチストリップ・コントローラーで調整することもできます。
12. **タッチストリップ・コントローラー**：タッチストリップ・コントローラーを使用すると、ノートリピート、ピッチベンド、モジュレーション、XY エフェクトなどをコントロールし、表現力豊かな演奏を行うことができます。
13. **TOUCH STRIP/CONFIG: ボタン**：このボタンを押し、タッチストリップ・コントローラーのモードを選択します。このボタンを押し続けると、いずれかのコントロールモードを素早く選択することができます。
SHIFT を押しながらこのボタンを押すと、タッチストリップ・コントロールの設定を開きます。

モードコントロール/ビューコントロール

14. **MODE ボタン**：このボタンを押しながら以下のパッドのいずれかを押すと、ディスプレイの表示モード（オレンジ色で本体に印字されています）を変更できます。
- **Pad 1:** Track View Mode
 - **Pad 2:** Grid Editor
 - **Pad 3:** Wave Editor
 - **Pad 4:** List Editor
 - **Pad 5:** Sample Edit Mode
 - **Pad 6:** Program Edit Mode
 - **Pad 7:** Pad Mixer Mode
 - **Pad 8:** Channel Mixer Mode
 - **Pad 9:** Next Sequence Mode
 - **Pad 10:** Song Mode
 - **Pad 11:** MIDI Control Mode
 - **Pad 12:** Media / Browser Mode
 - **Pad 13:** Sampler
 - **Pad 14:** Looper
 - **Pad 15:** Step Sequence Mode
 - **Pad 16:** Save
15. **MAIN/TRACK VIEW ボタン**：このボタンを押して、メインモードを開きます。
SHIFT を押しながらこのボタンを押すと、トラックビューモードを開きます。タッチストリップ・コントロールの設定を開きます。

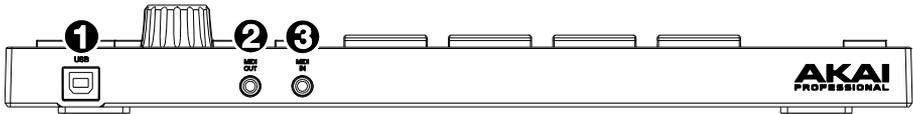
16. **TRACK SELECT/SEQ SELECT ボタン**：このボタンで、MIDIトラックとオーディオトラックを切り替え、**データダイヤル**もしくは (-/+) ボタンで選択したトラックを変更します。
SHIFT を押しながら**データダイヤル**もしくは (-/+) ボタンを使用すると、選択したシーケンスを変更することができます。
17. **PROGRAM SELECT/TRACK TYPE ボタン**：このボタンを押し**データダイヤル**もしくは (-/+) ボタンを使用すると、選択したトラックのプログラムを変更することができます。
SHIFT を押しながらこのボタンを押し、**データダイヤル**もしくは (-/+) ボタンを使用すると、選択したトラックのトラックタイプを Drum/Keygroup/Plugin/MIDI/Clip/CV から選択し、変更することができます。
18. **BROWSE/UP ボタン**：このボタンを押すと、ブラウザを開くことができます。ブラウザでは、プログラム、サンプル、シーケンスなどを探して選択することができます。
ブラウザを使用中に **SHIFT** を押しながらこのボタンを押すと、展開されたフォルダの1つ上の階層のフォルダに戻ります。
19. **SAMPLE SELECT ボタン**：このボタンを押し**データダイヤル**もしくは (-/+) ボタンを使用すると、選択したパッドにアサインされたサンプルを変更することができます。パッドを選択中に再度このボタンを押すと、パッド内のレイヤー1~4を選択することができますので、特定のレイヤーのみサンプルを変更することも可能です。
20. **SAMPLE START/LOOP START ボタン**：このボタンを押し**データダイヤル**もしくは (-/+) ボタンを使用すると、選択したパッドにアサインされたサンプルのスタートポイントを調整することが可能です。パッドを選択中に再度このボタンを押すと、パッド内のレイヤー1~4を選択することができますので、特定のレイヤーのみサンプルのスタートポイントを調整することも可能です。
SHIFT を押しながらこのボタンを押し、**データダイヤル**もしくは (-/+) ボタンを使用すると、選択したパッドにアサインされたサンプルのループポイントを調整することが可能です。パッドを選択中に **SHIFT** を押しながら再度このボタンを押すと、パッド内のレイヤー1~4を選択することができますので、特定のレイヤーのみサンプルのループポイントを調整することも可能です。
21. **SAMPLE END ボタン**：このボタンを押し**データダイヤル**もしくは (-/+) ボタンを使用すると、選択したパッドにアサインされたサンプルのエンドポイントを調整することが可能です。パッドを選択中に再度このボタンを押すと、パッド内のレイヤー1~4を選択することができますので、特定のレイヤーのみサンプルのエンドポイントを調整することも可能です。
22. **TUNE/FINE ボタン**：このボタンを押し**データダイヤル**もしくは (-/+) ボタンを使用すると、選択したパッドにアサインされたサンプルのチューニングを行うことが可能です。パッドを選択中に再度このボタンを押すと、パッド内のレイヤー1~4を選択することができますので、特定のレイヤーのみサンプルのチューニングを行うことも可能です。
SHIFT を押しながらこのボタンを押し、**データダイヤル**もしくは (-/+) ボタンを使用すると、選択したパッドにアサインされたサンプルの FINE チューニング（微調整）を行うことが可能です。パッドを選択中に **SHIFT** を押しながら再度このボタンを押すと、パッド内のレイヤー1~4を選択することができますので、特定のレイヤーにサンプルの FINE チューニング（微調整）を行うことも可能です。
23. **QUANTIZE ボタン**：このボタンを押すと、すべてのノートイベントにタイム・コレクトの設定に基づいたクオンタイズがかかります。
SHIFT を押しながらこのボタンを押すと、選択したノートイベントにのみクオンタイズをかけることができます。
24. **TC ON/OFF/CONFIG ボタン**：このボタンを押し、タイム・コレクトの ON/OFF を切り替えます。
SHIFT を押しながらこのボタンを押すと、タイム・コレクトの設定画面が開きます。この設定画面では、シーケンスのイベントをクオンタイズするためのさまざまな設定を行うことができます。

25. **ZOOM/VERT ZOOM ボタン**：このボタンを押し**データダイヤル**もしくは (-/+) ボタンを使用すると、グリッドが水平方向に拡大します。
- SHIFT** を押しながらこのボタンを押し、**データダイヤル**もしくは (-/+) ボタンを使用すると、グリッドが垂直方向に拡大します。
26. **PAD MUTE/TRACK MUTE ボタン**：このボタンを押すと、パッドミュートモードの設定画面が開きます。この設定画面では、プログラム内のパッドを簡単にミュートしたり、プログラム内の各パッドにミュートグループを設定することができます。
- SHIFT** を押しながらこのボタンを押すと、ミュートモードの設定画面が開きます。この設定画面では、プログラム内のトラックを簡単にミュートしたり、プログラム内の各トラックにミュートグループを設定することができます。

トランスポートコントロール/レコーディングコントロール

27. **RECORD ボタン**：このボタンを押すと、シーケンスがレコーディング待機の状態になります。**PLAY ボタン**または **PLAY START ボタン**を押すとレコーディングが始まります。**RECORD ボタン**でのレコーディングは現在のシーケンスのイベントデータを上書きします。レコーディング中は、シーケンスの2週目からオーバーダブレコーディングが可能になります。
28. **OVERDUB ボタン**：このボタンを押すとオーバーダブレコーディングが ON になります。オーバーダブレコーディングでは、レコーディング済みのノート・データを上書きせず、新たなノート・イベントを追加レコーディングすることができます。オーバーダブは、レコーディング中でも、レコーディング開始前に ON にすることもできます。
29. **STOP ボタン**：このボタンを押すと、再生が停止します。ダブルタップすると、ノートの再生が停止した後にまだ鳴っているオーディオをミュートすることができます。
- SHIFT** を押しながらこのボタンを押すと、再生ヘッドが 1:1:0 に戻ります。
30. **PLAY ボタン**：このボタンを押すと、シーケンスが現在の再生ヘッドの位置から再生されます。
31. **PLAY START ボタン**：このボタンを押すと、シーケンスがスタートポイントから再生されます。
32. **STEP</> (EVENT </>) ボタン**：このボタンのいずれかを押し、再生ヘッドを 1 ステップずつ左および右に動かすことができます。
- LOCATE ボタン**を押しながらこのボタンのいずれかを押し、シーケンスグリッドで再生ヘッドを 1 イベントずつ左および右に動かすことができます。
33. **BAR <</> (START/END) ボタン**：このボタンのいずれかを押し、再生ヘッドを 1 小節 (1 BAR) ずつ左および右に動かすことができます。
- LOCATE ボタン**を押しながらこのボタンのいずれかを押し、再生ヘッドをシーケンスグリッドのスタートポイントもしくはエンドポイントに動かすことができます。
34. **LOCATE ボタン**：このボタンとパッドを使用すれば、タイムライン上にロケーターマーカーを設定したり、マーカーの位置までジャンプすることができます。このボタンを押しながらパッド 9~14 をタップすると最大 6 個のロケーターをタイムライン上に設定することができます。また、このボタンを押しながらパッド 1~6 をタップすると設定したロケーターにジャンプします。
35. **AUTOMATION READ/WRITE ボタン**：このボタンで、オートメーション機能の **Read モード** と **Write モード**を切り替えます。**SHIFT** を押しながらこのボタンを押すとオートメーション機能の ON/OFF を切り替えることができます。
36. **TAP TEMPO/MASTER ボタン**：お好きなテンポでこのボタンを複数回押し、新しいテンポ (BPM) を設定することができます。
- SHIFT** を押しながらこのボタンを押すと、現在のシーケンスが、シーケンスに設定されている **Sequence BPM** に従う (ボタンの文字が白の状態) か、**Master BPM** に従う (ボタンの文字が赤の状態) か選択することができます。
37. **ERASE ボタン**：シーケンスの再生中にこのボタンを押しながら任意のパッドを押すと、そのパッドにアサインされたノート・イベントを消去することができます。この機能は、シーケンスの再生を止めずにノート・イベントを素早く消去できるので直感的な編集が可能になります。

リアパネル



- 1. USB-B ポート**：付属の USB ケーブルを使用して、この USB ポートとコンピュータを接続します。この接続により、MPC Studio はコンピュータ上の MPC ソフトウェアとの間で MIDI データを送受信することができます。
- 2. MIDI 入力端子**：付属の 3.5 mm TRS > 5 ピン MIDI アダプターを別売りの 5 ピン MIDI ケーブルに接続し、この入力と外部 MIDI デバイス（シンセサイザー、ドラムマシンなど）の MIDI 出力を接続します。
- 3. MIDI 出力端子**：付属の 3.5 mm TRS > 5 ピン MIDI アダプターを別売りの 5 ピン MIDI ケーブルに接続し、この出力と外部 MIDI デバイス（シンセサイザー、ドラムマシンなど）の MIDI 入力を接続します。

付録

技術仕様

Pads	(16) velocity- and pressure-sensitive pads, RGB-backlit (8) banks accessible via Pad Bank buttons
Knobs	(1) 360° push encoder for display navigation and selection
Touch Strip	(1) multi-function 5.5" (140 mm) touch-capacitive controller with LED indicators
Buttons	(39) LED backlit dedicated function buttons
Display	Full-color LCD
Connections	(1) 1/8" (3.5 mm) MIDI input (1) 1/8" (3.5 mm) MIDI output (1) USB Type-B port
電源	USB バスパワー
サイズ (W x D x H)	332 x 173 x 39 mm
重量	0.83 kg

※仕様は予告なく変更になる場合がございます。

商標とライセンス

Akai Professional と MPC は inMusic Brands, Inc.の商標で、米国およびその他の国々で登録されています。他のすべての製品名、会社名、商標、または商号は、それぞれの所有者のもです。

AKAI[®]
PROFESSIONAL

akaipro.com

Manual Version 1.3